別紙 1

ロクハ公園の現状について

1) ロクハ公園の位置

・ロクハ公園は、周辺に国道 1 号や県道 2 号などの主要道路が通っており、新名神高速道路の草津田上 IC から車で約 5 分の距離に位置している。

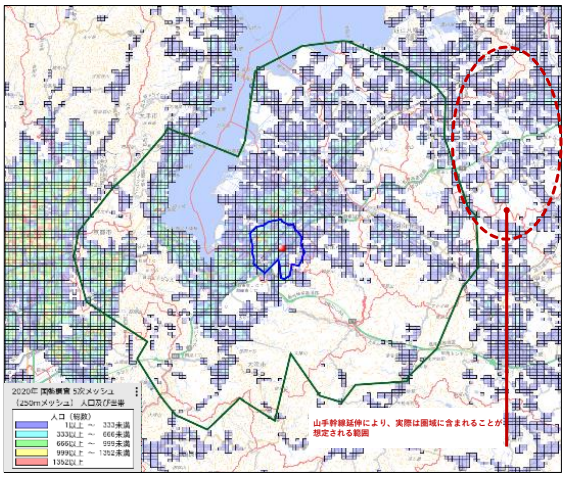
・最寄りの南草津駅からは、京都駅まで約 20 分（電車）、大阪駅まで約 50 分（電車）でアクセス可能である。南草津駅からロクハ公園までは約 20 分（バス）でアクセス可能である。



2) ロクハ公園の商圏

・自転車 15 分圏内（日常的な利用が見込まれる）に、約 6 万人の商圏を有している。

・自動車 30 分圏内（休日の利用が見込まれる）に、約 80 万人の商圏を有している。



分類	自転車15分圏域	自動車30分圏域	草津市	滋賀県
4歳以下人口	2,628	34,860	6,018	56,791
5～9歳人口	3,094	39,201	6,987	65,794
10～14歳人口	3,080	40,595	6,707	68,784
15～19歳人口	3,901	42,392	7,387	71,350
20～24歳人口	6,554	45,301	10,513	71,038
25～29歳人口	3,544	40,087	7,195	65,262
30～34歳人口	3,330	44,398	7,254	73,629
35～39歳人口	4,029	50,362	9,098	83,451
40～44歳人口	4,444	58,867	10,277	95,820
45～49歳人口	5,219	68,930	11,388	109,147
50～54歳人口	4,133	57,053	9,312	91,772
55～59歳人口	3,316	49,145	7,585	84,212
60～64歳人口	2,632	42,729	6,263	79,100
65～69歳人口	2,845	47,655	7,072	86,496
70～74歳人口	3,167	57,484	8,255	96,270
75歳以上人口	5,331	104,564	14,730	182,545
総人口	61,247	823,623	136,041	1,381,461

出典：□□□ 年　国勢調査より

3） ロクハ公園の概要

- ロクハ公園は市民の憩いの場、健康増進の場として、昭和 53（1978）年より整備、昭和 63（1988）年に供用開始した総合公園である。
- レジャープール、多目的広場、野外ステージ、デイキャンプ場、スポーツ広場、遊具広場、お花見広場等の多様な施設を有している。
- 名前の由来となった「ロクハ（緑波）池（3.8ha）」があり、四季を通じて市民に親しまれる公園となるよう「見る自然」「学ぶ自然」「ふれる自然」をテーマに施設が整備された。
- 駐車場の収容台数は合計で約 450 台である。



図　ロクハ公園の園内図

4) ロクハ公園エリア別の概要

① 水のエリア

・屋内/屋外プールに加え、川原池やじゃぶじゃぶ小川などの水辺空間が存在する。

➡プール施設等の老朽化への対応が必要。

② 緑のエリア

・芝生広場や遊具（くるくるランド）を備えた、子どもの遊びや休憩の場が存在する。

・ウォーキング・ジョギングコースが整備されている。

③ 食のエリア

・バーベキュー広場やキャンプ広場が存在する。

・デイキャンプの森で日帰り BBQ（事前予約必要）が可能。

④ 活動のエリア

・健康遊具やバスケットコートなど、健康からスポーツまで多様な活動の場が存在する。



5) ロクハ公園の利用者

・ロクハ公園プールの利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大前（令和元年）までは年間 6～7 万人程度で推移している。新型コロナウイルスの影響もあり、令和 2 年度は 2 千人程度となっているものの、令和 5 年度には 5 万人まで回復している。

・月別の利用比率でみると、7 月・8 月で全体の 90%以上を占めている。

・年齢層別の利用者数でみると、大人と小・中学生がそれぞれ全体の 40%程度を占めており、幼児は 15%程度、高校・大学生は 1～2%程度となっている。

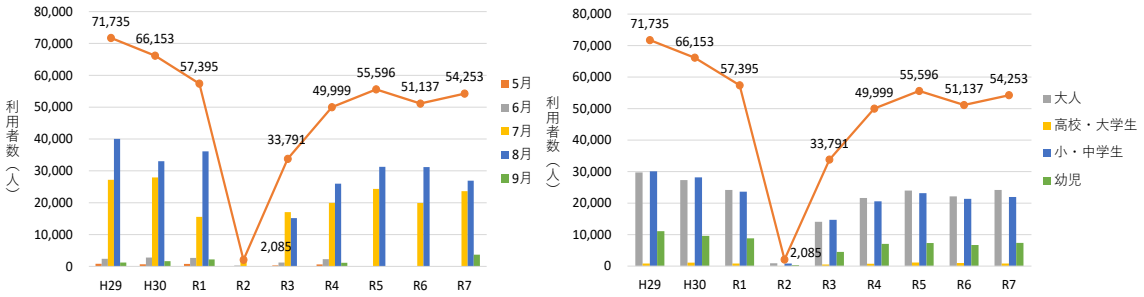


図　ロクハ公園の利用者数（左：月別、右：年齢層別）

6） ロクハ公園の再整備に係る検討の変遷

・草津市では、ロクハ公園プールの再整備を検討してきたが、以下の状況の変化に伴い、水のエリアを中心とする公民連携によるリニューアルに方針を変更。

【これまでの検討の経過】

▶令和４年度　：劣化度調査によりプール改修の必要性を確認
▶令和５年度　：検討委員会を立ち上げ基本計画案策定に向けた検討を開始
▶令和６年度末：基本計画案はほぼ完成したが、物価高騰により継続検討が必要と判断
▶令和７年度　：社会情勢の変化や物価動向などを踏まえ、新たな再整備の方向性について検討を進めた

【検討にあたり踏まえた状況の変化】

▶概算額
令和７年度に再試算の結果、横ばい状態（概算工事費総額：19 億円）
▶議会の声
『公園全体の再整備』『屋外プールの是非』に対する意見あり
▶環境変化
熱中症警戒アラート発令日の急増（令和４年度：14 日→令和６年度：35 日（2.5 倍））
▶他自治体の動向
老朽化した屋外プールの廃止、水遊び場や屋内プールへの転換を検討

7） 事業スケジュール

